第24回乳癌最新情報カンファランス　プログラム

1日目　8月25日（金）　会場：講演会場（6F 霧島）

9:50～10:00　**開会式**

10:00～10:50　**Session 1**

「閉経前乳癌 診断と治療 up to date」

司会：石川　　孝（東京医科大学　乳腺科学分野）

SS1-1　日本人トリプルネガティブ乳癌の遺伝子解析で分かったこと －遺伝子変異の特徴と予後への影響－

永橋　昌幸（兵庫医科大学　乳腺・内分泌外科）

SS1-2　中間リスク群に対する乳房切除後放射線治療（PMRT）を考える

山田　顕光（横浜市立大学大学院医学研究科　消化器・腫瘍外科／
横浜市立大学附属病院　乳腺外科）

共催：武田薬品工業株式会社

11:00～11:50　**Session 2**

司会：山下　年成（神奈川県立がんセンター　乳腺外科）

SS2　ホルモン受容体陽性HER2陰性乳癌の治療戦略を考える ～今までとこれから～

三好　康雄（兵庫医科大学　乳腺・内分泌外科）

共催：日本イーライリリー株式会社

12:00～12:50　**ランチョンセミナー1**

司会：中山　貴寛（大阪国際がんセンター　乳腺・内分泌外科）

LS1　私が考えるHR陽性MBC治療戦略の現在とこれから

尾崎由記範（がん研究会有明病院　乳腺センター　乳腺内科）

共催：ファイザー株式会社

13:00～13:50　**Session 3**

司会：石田　孝宣（東北大学大学院医学系研究科　乳腺・内分泌外科学分野）

SS3　HR+/HER2-の早期乳癌における個別化医療

小島　康幸（聖マリアンナ医科大学　乳腺・内分泌外科）

共催：エグザクトサイエンス株式会社

14:00～14:50 **Session 4**

司会：佐伯　俊昭（埼玉医科大学国際医療センター　病院長）

SS4　乳がんにおけるがん遺伝子パネル検査について考える

深田　一平（がん研究会有明病院　ゲノム診療部／
がん研究会有明病院　乳腺内科）

共催：中外製薬株式会社

15:00～15:50 **企画１**

「トリプルネガティブ乳癌：基礎から最新の治療へ」

司会：伊藤　研一（信州大学医学部　外科学教室　乳腺内分泌外科学分野）

PL1-1　トリプルネガティブ乳癌：基礎的知見から治療へ

新倉　直樹（東海大学医学部　乳腺・腫瘍科）

PL1-2　免疫チェックポイント阻害剤の現状と課題

杉江　知治（関西医科大学附属病院　乳腺外科）

16:00～16:50 **企画２**

「遠隔転移を有する乳癌の局所療法」

司会：岩田　広治（愛知県がんセンター　乳腺科部）

PL2-1　遠隔転移を有するStage Ⅳ乳がんに対する局所療法：これまでのエビデンス

平　　成人（川崎医科大学　乳腺甲状腺外科学）

PL2-2　遠隔転移を有する乳癌の局所療法～de-novo stage Ⅳ乳癌において

枝園　忠彦（岡山大学病院　乳腺・内分泌外科）

17:00～18:00 **教育セミナー**

「Drop-in Probeを用いた超音波誘導下乳房部分切除術」

司会：植野　　映（つくば国際ブレストクリニック）

ES-1　Drop-in Probeによる乳房部分切除の意義とコンセプト

植野　　映（つくば国際ブレストクリニック）

ES-2　ロボット手術用Drop-in probeを用いた乳房部分切除術

柏倉　由実（済生会松阪総合病院　乳腺外科）

ES-3　新しい超音波誘導下乳房部分切除術 －極小プローブの活用－

木村　芙英（第二川崎幸クリニック　乳腺科）

共催：富士フイルムヘルスケア株式会社

2日目　8月26日（土）　会場：講演会場（6F 霧島）

9:00～9:50　**Session 5**

司会：大野　真司（がん研究会有明病院　乳腺センター）

SS5　分子標的療法下におけるHER2陰性MBCの薬物療法 ～エリブリンをどう活用するか～

渡邊　健一（独立行政法人国立病院機構北海道がんセンター　乳腺外科）

共催：エーザイ株式会社

10:00～10:50　**Session 6**

司会：山本　　豊（熊本大学病院　乳腺・内分泌外科）

SS6　転移・再発乳癌に対するHER2標的治療の変遷

向原　　徹（国立がん研究センター東病院　腫瘍内科）

共催：第一三共株式会社

11:00～11:50　**企画３**

「HBOC における RRM、RRSO の実際：手術、術後ケアについて」

司会：田口　哲也（京都府立医科大学　名誉教授／京都府立医科大学大学院
外科学教室　内分泌・乳腺外科学　特任教授）

PL3-1　当院でのリスク低減乳房切除術、NSM施行時の工夫について

吉田　　敦（聖路加国際病院　乳腺外科）

PL3-2　HBOC患者に対する当院におけるRRSOの実際

豊島　将文（日本医科大学付属病院　女性診療科・産科）

12:00～12:50　**ランチョンセミナー２**

「BRCA 遺伝子変異陽性乳癌の変遷」

司会：髙野　利実（がん研究会有明病院　乳腺内科）

LS2-1　HER2陰性早期乳癌治療の最新情報

下井　辰徳（国立がん研究センター中央病院　腫瘍内科）

LS2-2　当院における*BRCA1/2*遺伝子の遺伝学的検査の現状と課題

樋口　　徹（さいたま赤十字病院　乳腺科）

共催：アストラゼネカ株式会社

13:00～13:50 **企画４**

「乳癌治療と妊娠について」

司会：佐治　重衡（福島県立医科大学　腫瘍内科学講座）

PL4-1 妊孕性温存療法の実際

原田美由紀（東京大学大学院医学系研究科　産婦人科学）

PL4-2 POSITVE試験と今後の展望について

片岡　明美（がん研究会有明病院　乳腺センター　乳腺外科／
トータルケアセンター　サバイバーシップ支援室・地域連携室）

14:00～14:50 **企画５**

「乳癌の非手術治療の現状と展望」

司会：野口　昌邦（金沢医科大学病院　乳腺内分泌外科）

PL5-1 Non-surgical ablationについて

髙山　　伸（国立がん研究センター中央病院　乳腺外科）

PL5-2 術前化学療法後乳房手術省略を目指したマンモトームを用いた完全消失予測の前向き多施設臨床試験

林　　直輝（昭和大学医学部　外科学講座　乳腺外科学部門／
昭和大学病院　乳腺外科）

15:00～16:00 **企画６**

「乳腺専門医、形成外科専門医とのコミュニケーションの重要性：そこから生まれる手術術式」

司会：中島　一毅（川崎医科大学総合医療センター　外科）

PL6-1 乳房縮小手技を導入した乳房温存オンコプラスティックサージャリー：volume displacementの経験

喜島　祐子（藤田医科大学　乳腺外科学講座）

PL6-2 乳腺専門医・形成外科専門医とのコミュニケーションの重要性：そこから生まれる手術術式 ダブルライセンス取得者の立場から

久保　和之（埼玉県立がんセンター　乳腺外科・形成外科）

特別発言

坂井　威彦（がん研究会有明病院　乳腺センター　乳腺外科）

16:00～ **閉会式**

デジタルポスター（一般演題）

P01　KeyNote522レジメンでpCRが得られた基質産生癌の1例

○佐藤友威[1]，酒井　剛[2]
[1]新潟県立中央病院　外科，[2]新潟県立中央病院　病理診断科

P02　HER2陽性進行・再発乳癌に対する1次治療としてのエリブリン＋トラスツズマブ＋ペルツズマブ併用療法（ETP療法）-多施設共同臨床第Ⅱ相試験- SBCCSG-36

○二宮　淳[1]，井上賢一[2]，齋藤　毅[3]，樋口　徹[3]，大久保雄彦[4]，中熊尊士[5]，山田博文[6]，君塚　圭[7]
[1]二宮病院　乳腺外科，[2]埼玉県立がんセンター　乳腺腫瘍科，[3]さいたま赤十字病院　乳腺科，[4]戸田中央総合病院　乳腺外科，[5]上尾中央総合病院　乳腺外科，[6]川越ブレストクリニック，[7]春日部市立医療センター　乳腺外科

P03　抗体薬物複合体のカドサイラと放射線治療の同時併用で生じた放射線皮膚障害の1例

○中村健人，豊田千裕，佐貫直子，水野　豊
市立四日市病院　外科